

2021 年合格目標

TAC 行政書士講座・オンラインセミナー

年末年始を有効活用！

**今から始める
学習の進め方**

担当・小池昌三講師
2020 年 12 月 16 日（水）

《セミナーの内容》

- 1. 行政書士試験の概要**
- 2. 年末年始の学習の進め方**
- 3. TACの早期受講のススメ**
- 4. 皆様の疑問点解消(質疑応答)**

1. 行政書士試験の概要

(1) 試験要項

受験資格：誰でも受験できます。

試験日：例年 11 月第 2 日曜日（2021 年は 11 月 14 日予定）

試験時間：午後 1 時～4 時（3 時間）

(2) 出題形式

① 5 肢択一式（60 問中 54 問 － 1 問 4 点）

ex. 次のうち正しいものはどれか。

- 1 ～
- 2 ～
- 3 ～
- 4 ～
- 5 ～

② 多肢選択式（60 問中 3 問 － 1 問 8 点・部分点あり）

ex. ア～エに当てはまる語句を、枠内の選択肢（1～20）から選びなさい。

～～ ～～～～～ ～～～ ～～ ～～～～～。

1	2	～	20
---	---	---	----

③ 記述式（60 問中 3 問 － 1 問 20 点・部分点あり）

ex. ～について、40 字程度で記述しなさい。

(3) 試験科目・出題形式・出題数・得点戦略

合格基準 ⇒ 300満点中180点（6割）で合格！！

① 法令科目（出題数 46 題－244 点/300 点）

〔法令科目の出題形式・出題数・得点戦略〕

科目	択一	多肢	記述	配点	学習量	難易度
×基礎法学	2			8点	多	難
○憲法	5	1		28点	少	易
◎行政法	19	1	1	112点	多	普
◎民法	9		2	76点	多	難
△商法	5			20点	多	普

② 一般知識等（出題数 14 題－56 点/300 点）

〔一般知識の出題形式・出題数・得点戦略〕

科目	択一	多肢	記述	配点	学習量	難易度
×社会系	7			28点	多	難
○情報系	4			16点	少	普
◎文章理解	3			12点	少	易

学習の中心に据えるべき科目の選択

- ① 配点が高い科目を得点源にする必要があります。
→ 行政法、民法
- ② 学習分量が少なければ、短時間の学習で得点に直結します。
→ 憲法、商法の一部、情報系
- ③ 難易度が易しければ、短時間の学習で得点に直結します。
→ 憲法・商法の一部、文章理解

(4) 宅建士受験者の行政書士試験受験のメリット

①科目の重なり

民法（物権中心） → 民法（全体をまんべんなく）

②科目特性の類似性

宅建業法・法令上の制限（暗記系） → 行政法（暗記系）

2. 年末年始を有効活用する方法 （学習スケジュールの立て方）

①合格に必要なもの

(1) インプット

合格に必要な知識の獲得です。

テキストを読む。TACの講座を受講します。

(2) アウトプット

合格できなかった人に足りないものは問題演習です。

アウトプットは時間がかかりますので、問題をたくさん解くためには、インプットに割く時間を極力減らす必要があります。

(3) 効率的学習の確立

合格に必要なインプット・アウトプットをするためには時間が必要です。しかし、時間には限りがあります。有限な時間を効率的に使って学習を進めることが短期合格するためには必須です。

効率的な学習法とは、インプット→アウトプットを繰り返すことです。そして、その割合としては、インプット2に対して、アウトプット8ぐらいです。

そして、このアウトプット中心の効率的な学習の進め方を、なるべく早めにマスターしてしまうことが短期合格には必要となります。

この学習の進め方をマスターするためには、ある程度まとまった時間をつかって実践を続けることが必要となります。しかし、私たちには仕事がありますから、普段からまとまった時間というものはありません。そのため、通常は時間のある土日を使いながら、このアウトプット中心の学習をマスターしていくことになります。通常は、学習開始から1～2か月でマスターすることになります。

しかし、年内から学習を始める場合には、年末年始にまとまった時間が取れますから、年末年始の1週間から10日間ぐらいの時間で、アウトプット中心の効率的学習の進め方をマスターすることができます。そして、年明けからは、無駄な時間を作ることなく、効率的に学習を進めていくことができるわけです。

②年末年始の使い方

(1) 憲法を使って効率的学習方法を確立

年末年始のおよそ10日間をどのように使うか。

年明けからは、行政書士試験攻略のメインとなる民法・行政法の学習の中心に据えます。この学習をスムーズに進めるために、まずは、学習分量が他の科目に比べて比較的少なく、学習効率がよい憲法を一通り学習することを通じて、アウトプット中心の効率的学習方法をマスターします。

憲法には、理解を必要とする人権分野と、暗記を必要とする統治分野から成り立ちます。民法は理解を必要とする科目ですし、行政法は暗記を必要とする科目です。したがって、二大メイン科目となる民法・行政法の学習要素が憲法には含まれることになります。

(2) 効率的学習法＝インプット→アウトプットを繰り返す学習法

① インプットはTACの講義を利用

実は、インプットが一番時間がかかってしまうところですが、ここをシェイプアップできれば、かなり効率的な学習が可能になります。その方法としては、断然、講義を聴くことです。

そこで、TACの講義を利用して、アウトプットをとことんシェイプアップします。憲法の講義は全7回ですので、年末年始を使ってマスターするにはもってこいです。この講義を1日1コマ（2.5時間）視聴していきます。これでインプットは完成です。

② アウトプットに最大限時間を割く

講義で知識をインプットしたら、間をあげずに当該部分の過去問を解きます。これが効率的学習の肝となります。過去問の前に、一問一答形式の問題集をかませると一層効果的です。

③ 効果的な問題演習法

問題を解き、正誤判断の根拠となる条文や判例を説明できる肢には○や×をつけ、正誤判断できなかった肢、正誤判断に時間がかかった肢には△をつけ、△のついた肢を徹底的に復習します。

講義1コマにつき、該当問題2～3回を繰り返す学習をマスターします。

(3) +αで一般知識も年末にかじっておこう

一般知識の問題を解く。年末のニュース番組を見る。用語集を読む。

3. TACの早期受講(年内開始)のススメ

(1) 学習ニーズに合わせた受講講座選択

初学者向けのコースが「プレミアム本科生 Plus」「プレミアム本科生」です。
インプットの充実はもちろん、アウトプットの機会も多く設けられています。

(2) 受講メディアの豊富さ

通学、通信など、受講メディアも豊富です。

(3) 面倒見のいい講師陣

質問にも納得いくまで回答してまいります。

(4) 年内から学習を始めるメリット

① 「早割キャンペーン第2弾」が 12/27(日)までとなります。

- ・「プレミアム本科生 Plus」の早割は、この第2弾で終了となります。この
お得な機会をお見逃しなく！

教室・ビデオブース・Web通信

通常受講料 259,000 円 → キャンペーン受講料 209,000 円

DVD通信

通常受講料 280,000 円 → キャンペーン受講料 235,000 円

- ・「プレミアム本科生」も、早割第2弾でおトクです！

教室・ビデオブース・Web通信

通常受講料 236,000 円 → キャンペーン受講料 199,000 円

DVD通信

通常受講料 255,000 円 → キャンペーン受講料 225,000 円

12/27（日）までにお申込みいただくのが断然おトクです。

② 年内学習を始めるなら、早めにお申し込みを！

- ・通信は、今週中にお申込み完了いただくと、教材が年内に発送されます。
- ・通信も通学も、『Webフォロー』ですぐに学習開始できます。
- ・「プレミアム本科生 Plus」「プレミアム本科生」は、『デジタル教材』でも
学習できます。

③ Webからのお申込みが可能です（e 受付）。

4. 皆様の疑問点解消(質疑応答)